

Q001 専門職 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、介護福祉士の専門性の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 支援の中心を職員や施設ではなく、本人の生活と意思に置くこと。
- B. 利用者の安全確保を最優先し、状態確認、応援要請、報告、記録を行うこと。
- C. 生活支援を通じて利用者の尊厳と自立を支える専門職として、根拠に基づく介護を行うこと。
- D. 要介護状態の発生や悪化を予防し、生活機能の維持・向上を図ること。

答え・解説

正答：C. 生活支援を通じて利用者の尊厳と自立を支える専門職として、根拠に基づく介護を行うこと。

超簡単な解説：介護福祉士の専門性は、生活支援を通じて利用者の尊厳と自立を支える専門職として、根拠に基づく介護を行うこと。

Q002 連携 | 4択 | 標準

問題

在宅で生活する利用者で、チームアプローチを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 家族の訴えを傾聴し、必要な制度や相談につなぐ。
- B. 観察・記録・評価を行い、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- D. 利用者の変化を記録し、看護師やケアマネジャーに具体的に報告する。

答え・解説

正答：D. 利用者の変化を記録し、看護師やケアマネジャーに具体的に報告する。

超簡単な解説：チームアプローチでは、利用者の変化を記録し、看護師やケアマネジャーに具体的に報告する。この対応が適切である。

Q003 連携 | 4択 | 標準

問題

介護実践で多職種連携を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 障害を個人の問題だけにせず、環境調整で生活可能性を広げられるため。
- B. 家族の疲弊は本人の生活継続にも影響するため。
- C. 身体・心理・社会面の課題を総合的に支えるため。
- D. 本人が不安を訴えても、支援計画を変更してはならないため。

答え・解説

正答：C. 身体・心理・社会面の課題を総合的に支えるため。

超簡単な解説：多職種連携を重視する理由は、身体・心理・社会面の課題を総合的に支えるため。

Q004 介護実践 | 4択 | 応用

問題

Dさんは観察に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 本人の訴えを受け止め、普段と違う歩き方や食欲低下を具体的な事実として記録する。
- D. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。

答え・解説

正答：C. 本人の訴えを受け止め、普段と違う歩き方や食欲低下を具体的な事実として記録する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、観察の観点から本人中心に対応する。

Q005 介護実践 | 4択 | 標準

問題

記録の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 『元気なし』だけでなく、食事摂取量や発言など具体的事実を書く。

答え・解説

正答：B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

超簡単な解説：記録では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q006 介護実践 | 4択 | 標準

問題

報告・連絡・相談に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- C. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- D. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。

答え・解説

正答：B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q007 安全 | 4択 | 基礎

問題

リスクマネジメントに関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- B. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。
- C. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

答え・解説

正答：D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q008 安全 | 4択 | 応用

問題

感染予防を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- D. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。

答え・解説

正答：C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q009 倫理 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、倫理綱領の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 専門職として尊厳、自己決定、秘密保持、公正性などを守る行動指針。
- B. 家族の介護負担や不安を理解し、本人支援と両立する形で支えること。
- C. 業務上知り得た個人情報を正当な理由なく第三者に漏らさないこと。
- D. 標準予防策を基本に、感染源・感染経路・感受性宿主への対策を行うこと。

答え・解説

正答：A. 専門職として尊厳、自己決定、秘密保持、公正性などを守る行動指針。

超簡単な解説：倫理綱領は、専門職として尊厳、自己決定、秘密保持、公正性などを守る行動指針。

Q010 倫理 | 4択 | 標準

問題

一人暮らしの利用者で、秘密保持を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 『元気なし』だけでなく、食事摂取量や発言など具体的事実を書く。
- B. 利用者の個人情報を職員以外が聞こえる場所で話さない。
- C. 移乗方法を変更した後、痛みや不安の有無を確認して記録する。
- D. 家族関係や病歴を、必要な職員以外に話さない。

答え・解説

正答：D. 家族関係や病歴を、必要な職員以外に話さない。

超簡単な解説：秘密保持では、家族関係や病歴を、必要な職員以外に話さない。この対応が適切である。

Q011 生活機能 | 4択 | 標準

問題

介護実践でICFを重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 生活不活発は心身機能低下につながるため。
- B. 家族の希望は常に本人の意思より優先されるため。
- C. 家族の疲弊は本人の生活継続にも影響するため。
- D. 障害を個人の問題だけにせず、環境調整で生活可能性を広げられるため。

答え・解説

正答：D. 障害を個人の問題だけにせず、環境調整で生活可能性を広げられるため。

超簡単な解説：ICFを重視する理由は、障害を個人の問題だけにせず、環境調整で生活可能性を広げられるため。

Q012 支援観 | 4択 | 応用

問題

Fさんはストレングス視点に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- B. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- C. 本人の訴えを受け止め、『できないこと』だけでなく『できる動作』『好きな活動』を把握する。
- D. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。

答え・解説

正答：C. 本人の訴えを受け止め、『できないこと』だけでなく『できる動作』『好きな活動』を把握する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、ストレングス視点の観点から本人中心に対応する。

Q013 個別性 | 4択 | 標準

問題

生活歴の把握の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 入浴や食事の好みを生活歴から確認し、支援方法に反映する。

答え・解説

正答：A. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：生活歴の把握では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q014 連携 | 4択 | 標準

問題

家族支援に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- B. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- C. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- D. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。

答え・解説

正答：A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q015 自立支援 | 4択 | 基礎

問題

介護予防に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- B. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- C. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

答え・解説

正答：D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q016 接遇 | 4択 | 応用

問題

尊厳を支える言葉かけを支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

答え・解説

正答：D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q017 安全 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、事故発生時の初期対応の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 支援内容、利用者の状態、反応、判断根拠を客観的に残すこと。
- B. 利用者の安全確保を最優先し、状態確認、応援要請、報告、記録を行うこと。
- C. 利用者の表情、動作、発言、生活状況の変化を意図的に見ること。
- D. 実施した支援が本人に合っているかを確認し、必要に応じて修正すること。

答え・解説

正答：B. 利用者の安全確保を最優先し、状態確認、応援要請、報告、記録を行うこと。

超簡単な解説：事故発生時の初期対応は、利用者の安全確保を最優先し、状態確認、応援要請、報告、記録を行うこと。

Q018 連携 | 4択 | 標準

問題

一人暮らしの利用者で、ケアマネジメントとの連動を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 日常の変化を介護支援専門員へ共有し、計画見直しの材料にする。
- B. 転倒時は無理に起こさず、意識や痛みを確認し応援を呼ぶ。
- C. 観察・記録・評価を行い、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 『元気なし』だけでなく、食事摂取量や発言など具体的事実を書く。

答え・解説

正答：A. 日常の変化を介護支援専門員へ共有し、計画見直しの材料にする。

超簡単な解説：ケアマネジメントとの連動では、日常の変化を介護支援専門員へ共有し、計画見直しの材料にする。この対応が適切である。

Q019 支援観 | 4択 | 標準

問題

介護実践で利用者主体を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人が不安を訴えても、支援計画を変更してはならないため。
- B. 介護は本人の生活を支える営みであり、管理のためだけに行うものではないため。
- C. 身体・心理・社会面の課題を総合的に支えるため。
- D. 安全確認は医療職だけが行うため。

答え・解説

正答：B. 介護は本人の生活を支える営みであり、管理のためだけに行うものではないため。

超簡単な解説：利用者主体を重視する理由は、介護は本人の生活を支える営みであり、管理のためだけに行うものではないため。

Q020 介護実践 | 4択 | 応用

問題

Bさんは継続的な評価に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- B. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- C. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- D. 本人の訴えを受け止め、移乗方法を変更した後、痛みや不安の有無を確認して記録する。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、移乗方法を変更した後、痛みや不安の有無を確認して記録する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、継続的な評価の観点から本人中心に対応する。

Q021 専門職 | 4択 | 標準

問題

介護福祉士の専門性に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- B. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- D. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。

答え・解説

正答：C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q022 連携 | 4択 | 基礎

問題

チームアプローチに関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- C. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- D. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。

答え・解説

正答：B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q023 連携 | 4択 | 応用

問題

多職種連携を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- B. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- C. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

答え・解説

正答：D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q024 介護実践 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、観察の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 介護職、医療職、相談職、家族などが役割を分担し、共通目標に向けて支援すること。
- B. 利用者の表情、動作、発言、生活状況の変化を意図的に見ること。
- C. 本人の仕事、家族、趣味、習慣など過去から現在までの生活を理解すること。
- D. 支援の中心を職員や施設ではなく、本人の生活と意思に置くこと。

答え・解説

正答：B. 利用者の表情、動作、発言、生活状況の変化を意図的に見ること。

超簡単な解説：観察は、利用者の表情、動作、発言、生活状況の変化を意図的に見ること。

Q025 介護実践 | 4択 | 標準

問題

通所介護を利用する高齢者で、記録を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 普段と違う歩き方や食欲低下を具体的な事実として記録する。
- B. ヒヤリ・ハットを共有し、環境や手順の改善につなげる。
- C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- D. 『元気なし』だけでなく、食事摂取量や発言など具体的事実を書く。

答え・解説

正答：D. 『元気なし』だけでなく、食事摂取量や発言など具体的事実を書く。

超簡単な解説：記録では、『元気なし』だけでなく、食事摂取量や発言など具体的事実を書く。この対応が適切である。

Q026 介護実践 | 4択 | 標準

問題

介護実践で報告・連絡・相談を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 情報の遅れは事故拡大や支援の不一致につながるため。
- B. 二次被害を防ぎ、医療判断につなげるため。
- C. 家族の希望は常に本人の意思より優先されるため。
- D. 単独職種では生活全体の課題を把握しにくいから。

答え・解説

正答：A. 情報の遅れは事故拡大や支援の不一致につながるため。

超簡単な解説：報告・連絡・相談を重視する理由は、情報の遅れは事故拡大や支援の不一致につながるため。

Q027 安全 | 4択 | 応用

問題

Cさんはリスクマネジメントに関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 本人の訴えを受け止め、ヒヤリ・ハットを共有し、環境や手順の改善につなげる。
- D. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。

答え・解説

正答：C. 本人の訴えを受け止め、ヒヤリ・ハットを共有し、環境や手順の改善につなげる。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、リスクマネジメントの観点から本人中心に対応する。

Q028 安全 | 4択 | 標準

問題

感染予防の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 介助前後の手指衛生と、必要時の手袋・マスクを適切に使う。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：感染予防では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q029 倫理 | 4択 | 標準

問題

倫理綱領に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。

答え・解説

正答：B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q030 倫理 | 4択 | 基礎

問題

秘密保持に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- B. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- D. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。

答え・解説

正答：C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q031 生活機能 | 4択 | 応用

問題

ICFを支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- D. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。

答え・解説

正答：C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q032 支援観 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、ストレングス視点の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 命令や幼児扱いを避け、対等な大人として関わること。
- B. 問題点だけでなく、本人の強み・希望・資源に着目する視点。
- C. 標準予防策を基本に、感染源・感染経路・感受性宿主への対策を行うこと。
- D. 事故を予測し、発生予防と発生時対応、再発防止を行うこと。

答え・解説

正答：B. 問題点だけでなく、本人の強み・希望・資源に着目する視点。

超簡単な解説：ストレングス視点は、問題点だけでなく、本人の強み・希望・資源に着目する視点。

Q033 個別性 | 4択 | 標準

問題

認知機能に不安がある利用者で、生活歴の把握を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 入浴や食事の好みを生活歴から確認し、支援方法に反映する。
- B. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- C. 転倒時は無理に起こさず、意識や痛みを確認し応援を呼ぶ。
- D. 利用者の変化を記録し、看護師やケアマネジャーに具体的に報告する。

答え・解説

正答：A. 入浴や食事の好みを生活歴から確認し、支援方法に反映する。

超簡単な解説：生活歴の把握では、入浴や食事の好みを生活歴から確認し、支援方法に反映する。この対応が適切である。

Q034 連携 | 4択 | 標準

問題

介護実践で家族支援を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 家族の疲弊は本人の生活継続にも影響するため。
- B. 一度決めた方法が常に最適とは限らないため。
- C. 身体・心理・社会面の課題を総合的に支えるため。
- D. 安全確認は医療職だけが行うため。

答え・解説

正答：A. 家族の疲弊は本人の生活継続にも影響するため。

超簡単な解説：家族支援を重視する理由は、家族の疲弊は本人の生活継続にも影響するため。

Q035 自立支援 | 4択 | 応用

問題

Eさんは介護予防に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- B. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- C. 本人の訴えを受け止め、活動量低下を防ぐため、本人に合う日課や運動機会を検討する。
- D. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。

答え・解説

正答：C. 本人の訴えを受け止め、活動量低下を防ぐため、本人に合う日課や運動機会を検討する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、介護予防の観点から本人中心に対応する。

Q036 接遇 | 4択 | 標準

問題

尊厳を支える言葉かけの観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 『次はどうしましょうか』と本人の意向を確認しながら進める。

答え・解説

正答：A. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：尊厳を支える言葉かけでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q037 安全 | 4択 | 標準

問題

事故発生時の初期対応に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- B. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- C. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

答え・解説

正答：D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q038 連携 | 4択 | 基礎

問題

ケアマネジメントとの連動に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- B. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- C. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- D. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。

答え・解説

正答：A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q039 支援観 | 4択 | 応用

問題

利用者主体を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- C. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- D. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。

答え・解説

正答：B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q040 介護実践 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、継続的な評価の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 専門職として尊厳、自己決定、秘密保持、公正性などを守る行動指針。
- B. 本人の仕事、家族、趣味、習慣など過去から現在までの生活を理解すること。
- C. 事故を予測し、発生予防と発生時対応、再発防止を行うこと。
- D. 実施した支援が本人に合っているかを確認し、必要に応じて修正すること。

答え・解説

正答：D. 実施した支援が本人に合っているかを確認し、必要に応じて修正すること。

超簡単な解説：継続的な評価は、実施した支援が本人に合っているかを確認し、必要に応じて修正すること。

Q041 専門職 | 4択 | 標準

問題

介護実践で介護福祉士の専門性を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 介護は経験だけでなく、根拠と評価に基づいて質を高める必要があるため。
- B. 本人の意欲と生活の継続性を支えやすくなるため。
- C. その人らしさを尊重した個別ケアにつながるため。
- D. 介護者の作業時間を短縮することが、常に最優先になるため。

答え・解説

正答：A. 介護は経験だけでなく、根拠と評価に基づいて質を高める必要があるため。

超簡単な解説：介護福祉士の専門性を重視する理由は、介護は経験だけでなく、根拠と評価に基づいて質を高める必要があるため。

Q042 連携 | 4択 | 応用

問題

Fさんはチームアプローチに関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- B. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- C. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- D. 本人の訴えを受け止め、利用者の変化を記録し、看護師やケアマネジャーに具体的に報告する。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、利用者の変化を記録し、看護師やケアマネジャーに具体的に報告する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、チームアプローチの観点から本人中心に対応する。

Q043 連携 | 4択 | 標準

問題

多職種連携の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 食事量低下を介護記録に残し、栄養士・看護師と対応を検討する。
- B. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：B. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：多職種連携では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q044 介護実践 | 4択 | 標準

問題

観察に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- B. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- C. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- D. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。

答え・解説

正答：A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q045 介護実践 | 4択 | 基礎

問題

記録に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- B. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。
- C. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- D. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。

答え・解説

正答：A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q046 介護実践 | 4択 | 応用

問題

報告・連絡・相談を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- C. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- D. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。

答え・解説

正答：B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q047 安全 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、リスクマネジメントの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 事故を予測し、発生予防と発生時対応、再発防止を行うこと。
- B. 家族の介護負担や不安を理解し、本人支援と両立する形で支えること。
- C. 要介護状態の発生や悪化を予防し、生活機能の維持・向上を図ること。
- D. 標準予防策を基本に、感染源・感染経路・感受性宿主への対策を行うこと。

答え・解説

正答：A. 事故を予測し、発生予防と発生時対応、再発防止を行うこと。

超簡単な解説：リスクマネジメントは、事故を予測し、発生予防と発生時対応、再発防止を行うこと。

Q048 安全 | 4択 | 標準

問題

退院後の生活を再開した利用者で、感染予防を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- B. 介助前後の手指衛生と、必要時の手袋・マスクを適切に使う。
- C. ヒヤリ・ハットを共有し、環境や手順の改善につなげる。
- D. 入浴や食事の好みを生活歴から確認し、支援方法に反映する。

答え・解説

正答：B. 介助前後の手指衛生と、必要時の手袋・マスクを適切に使う。

超簡単な解説：感染予防では、介助前後の手指衛生と、必要時の手袋・マスクを適切に使う。この対応が適切である。

Q049 倫理 | 4択 | 標準

問題

介護実践で倫理綱領を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 専門職の信頼は倫理的行動によって支えられるため。
- B. 生活不活発は心身機能低下につながるため。
- C. 利用者と職員双方の安全を守る基本だから。
- D. 家族の疲弊は本人の生活継続にも影響するため。

答え・解説

正答：A. 専門職の信頼は倫理的行動によって支えられるため。

超簡単な解説：倫理綱領を重視する理由は、専門職の信頼は倫理的行動によって支えられるため。

Q050 倫理 | 4択 | 応用

問題

Bさんは秘密保持に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- B. 本人の訴えを受け止め、家族関係や病歴を、必要な職員以外に話さない。
- C. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- D. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。

答え・解説

正答：B. 本人の訴えを受け止め、家族関係や病歴を、必要な職員以外に話さない。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、秘密保持の観点から本人中心に対応する。

Q051 生活機能 | 4択 | 標準

問題

ICFの観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 歩行困難だけでなく、住環境や参加機会も含めて支援を考える。
- B. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：B. 本人の発言を否定し、説得して職員の考えに合わせる。

超簡単な解説：ICFでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q052 支援観 | 4択 | 標準

問題

ストレングス視点に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- B. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

答え・解説

正答：D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q053 個別性 | 4択 | 基礎

問題

生活歴の把握に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- B. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- C. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

答え・解説

正答：D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q054 連携 | 4択 | 応用

問題

家族支援を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- B. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- D. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。

答え・解説

正答：C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q055 自立支援 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、介護予防の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 生活支援を通じて利用者の尊厳と自立を支える専門職として、根拠に基づく介護を行うこと。
- B. 要介護状態の発生や悪化を予防し、生活機能の維持・向上を図ること。
- C. 介護職、医療職、相談職、家族などが役割を分担し、共通目標に向けて支援すること。
- D. 標準予防策を基本に、感染源・感染経路・感受性宿主への対策を行うこと。

答え・解説

正答：B. 要介護状態の発生や悪化を予防し、生活機能の維持・向上を図ること。

超簡単な解説：介護予防は、要介護状態の発生や悪化を予防し、生活機能の維持・向上を図ること。

Q056 接遇 | 4択 | 標準

問題

在宅で生活する利用者で、尊厳を支える言葉かけを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 『次はどうしましょうか』と本人の意向を確認しながら進める。
- B. 活動量低下を防ぐため、本人に合う日課や運動機会を検討する。
- C. 介助前後の手指衛生と、必要時の手袋・マスクを適切に使う。
- D. 利用者の個人情報を職員以外が聞こえる場所で話さない。

答え・解説

正答：A. 『次はどうしましょうか』と本人の意向を確認しながら進める。

超簡単な解説：尊厳を支える言葉かけでは、『次はどうしましょうか』と本人の意向を確認しながら進める。この対応が適切である。

Q057 安全 | 4択 | 標準

問題

介護実践で事故発生時の初期対応を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 単独職種では生活全体の課題を把握しにくいから。
- B. 二次被害を防ぎ、医療判断につなげるため。
- C. 小さな兆候の分析が重大事故の予防につながるため。
- D. 生活情報は極めて私的であり、漏れは尊厳と信頼を傷つけるため。

答え・解説

正答：B. 二次被害を防ぎ、医療判断につなげるため。

超簡単な解説：事故発生時の初期対応を重視する理由は、二次被害を防ぎ、医療判断につなげるため。

Q058 連携 | 4択 | 応用

問題

Dさんはケアマネジメントとの連動に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- B. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- C. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- D. 本人の訴えを受け止め、日常の変化を介護支援専門員へ共有し、計画見直しの材料にする。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、日常の変化を介護支援専門員へ共有し、計画見直しの材料にする。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、ケアマネジメントとの連動の観点から本人中心に対応する。

Q059 支援観 | 4択 | 標準

問題

利用者主体の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 施設の日課に合わせるだけでなく、本人の生活リズムを確認する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：C. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：利用者主体では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q060 介護実践 | 4択 | 標準

問題

継続的な評価に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- B. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

答え・解説

正答：D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q061 専門職 | 4択 | 応用

問題

介護福祉士の専門性を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- D. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。

答え・解説

正答：A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q062 連携 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、チームアプローチの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 介護計画やサービス担当者会議と日々の介護実践を結びつけること。
- B. 命令や幼児扱いを避け、対等な大人として関わること。
- C. 介護職、医療職、相談職、家族などが役割を分担し、共通目標に向けて支援すること。
- D. 要介護状態の発生や悪化を予防し、生活機能の維持・向上を図ること。

答え・解説

正答：C. 介護職、医療職、相談職、家族などが役割を分担し、共通目標に向けて支援すること。

超簡単な解説：チームアプローチは、介護職、医療職、相談職、家族などが役割を分担し、共通目標に向けて支援すること。

Q063 連携 | 4択 | 標準

問題

退院後の生活を再開した利用者で、多職種連携を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 食事量低下を介護記録に残し、栄養士・看護師と対応を検討する。
- B. 移乗方法を変更した後、痛みや不安の有無を確認して記録する。
- C. 普段と違う歩き方や食欲低下を具体的な事実として記録する。
- D. 家族関係や病歴を、必要な職員以外に話さない。

答え・解説

正答：A. 食事量低下を介護記録に残し、栄養士・看護師と対応を検討する。

超簡単な解説：多職種連携では、食事量低下を介護記録に残し、栄養士・看護師と対応を検討する。この対応が適切である。

Q064 介護実践 | 4択 | 標準

問題

介護実践で観察を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 早期発見と安全な支援につながるため。
- B. 本人の意欲と生活の継続性を支えやすくなるため。
- C. 障害を個人の問題だけにせず、環境調整で生活可能性を広げられるため。
- D. 一度決めた方法が常に最適とは限らないため。

答え・解説

正答：A. 早期発見と安全な支援につながるため。

超簡単な解説：観察を重視する理由は、早期発見と安全な支援につながるため。

Q065 介護実践 | 4択 | 応用

問題

Eさんは記録に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- B. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- C. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- D. 本人の訴えを受け止め、『元気なし』だけでなく、食事摂取量や発言など具体的事実を書く。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、『元気なし』だけでなく、食事摂取量や発言など具体的事実を書く。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、記録の観点から本人中心に対応する。

Q066 介護実践 | 4択 | 標準

問題

報告・連絡・相談の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 転倒を発見したら状態確認後、上司・看護職に事実を報告する。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：報告・連絡・相談では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q067 安全 | 4択 | 標準

問題

リスクマネジメントに関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- B. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- C. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

答え・解説

正答：D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q068 安全 | 4択 | 基礎

問題

感染予防に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- C. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- D. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。

答え・解説

正答：B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q069 倫理 | 4択 | 応用

問題

倫理綱領を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 計画は職員の作業分だけを書き、本人の目標は含めない。
- B. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- D. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。

答え・解説

正答：C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q070 倫理 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、秘密保持の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 要介護状態の発生や悪化を予防し、生活機能の維持・向上を図ること。
- B. 問題点だけでなく、本人の強み・希望・資源に着目する視点。
- C. 業務上知り得た個人情報を正当な理由なく第三者に漏らさないこと。
- D. 命令や幼児扱いを避け、対等な大人として関わること。

答え・解説

正答：C. 業務上知り得た個人情報を正当な理由なく第三者に漏らさないこと。

超簡単な解説：秘密保持は、業務上知り得た個人情報を正当な理由なく第三者に漏らさないこと。

Q071 生活機能 | 4択 | 標準

問題

在宅で生活する利用者で、ICFを踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 移乗方法を変更した後、痛みや不安の有無を確認して記録する。
- B. 介助前後の手指衛生と、必要時の手袋・マスクを適切に使う。
- C. ヒヤリ・ハットを共有し、環境や手順の改善につなげる。
- D. 歩行困難だけでなく、住環境や参加機会も含めて支援を考える。

答え・解説

正答：D. 歩行困難だけでなく、住環境や参加機会も含めて支援を考える。

超簡単な解説：ICFでは、歩行困難だけでなく、住環境や参加機会も含めて支援を考える。この対応が適切である。

Q072 支援観 | 4択 | 標準

問題

介護実践でストレングス視点を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の意欲と生活の継続性を支えやすくなるため。
- B. 情報の遅れは事故拡大や支援の不一致につながるため。
- C. 生活情報は極めて私的であり、漏えいは尊厳と信頼を傷つけるため。
- D. 介護者の作業時間を短縮することが、常に最優先になるため。

答え・解説

正答：A. 本人の意欲と生活の継続性を支えやすくなるため。

超簡単な解説：ストレングス視点を重視する理由は、本人の意欲と生活の継続性を支えやすくなるため。

Q073 個別性 | 4択 | 応用

問題

Aさんは生活歴の把握に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- B. 本人の訴えを受け止め、入浴や食事の好みを生活歴から確認し、支援方法に反映する。
- C. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- D. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。

答え・解説

正答：B. 本人の訴えを受け止め、入浴や食事の好みを生活歴から確認し、支援方法に反映する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、生活歴の把握の観点から本人中心に対応する。

Q074 連携 | 4択 | 標準

問題

家族支援の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- C. 家族の訴えを傾聴し、必要な制度や相談先につなぐ。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：B. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：家族支援では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q075 自立支援 | 4択 | 標準

問題

介護予防に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- B. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。

答え・解説

正答：A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q076 接遇 | 4択 | 基礎

問題

尊厳を支える言葉かけに関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- C. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- D. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。

答え・解説

正答：B. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q077 安全 | 4択 | 応用

問題

事故発生時の初期対応を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 計画は職員の作業負担だけを書き、本人の目標は含めない。
- B. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- C. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

答え・解説

正答：D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q078 連携 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、ケアマネジメントとの連動の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 異なる専門職が専門性を活かし、情報共有と役割分担により支援すること。
- B. 家族の介護負担や不安を理解し、本人支援と両立する形で支えること。
- C. 介護計画やサービス担当者会議と日々の介護実践を結びつけること。
- D. 支援内容、利用者の状態、反応、判断根拠を客観的に残すこと。

答え・解説

正答：C. 介護計画やサービス担当者会議と日々の介護実践を結びつけること。

超簡単な解説：ケアマネジメントとの連動は、介護計画やサービス担当者会議と日々の介護実践を結びつけること。

Q079 支援観 | 4択 | 標準

問題

退院後の生活を再開した利用者で、利用者主体を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 施設の日課に合わせるだけでなく、本人の生活リズムを確認する。
- B. ヒヤリ・ハットを共有し、環境や手順の改善につなげる。
- C. 『元気なし』だけでなく、食事摂取量や発言など具体的事実を書く。
- D. 食事量低下を介護記録に残し、栄養士・看護師と対応を検討する。

答え・解説

正答：A. 施設の日課に合わせるだけでなく、本人の生活リズムを確認する。

超簡単な解説：利用者主体では、施設の日課に合わせるだけでなく、本人の生活リズムを確認する。この対応が適切である。

Q080 介護実践 | 4択 | 標準

問題

介護実践で継続的な評価を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 一度決めた方法が常に最適とは限らないため。
- B. 小さな兆候の分析が重大事故の予防につながるため。
- C. チーム内で同じ情報を共有し、継続した支援を行うため。
- D. 介護は本人の生活を支える営みであり、管理のためだけに行うものではないため。

答え・解説

正答：A. 一度決めた方法が常に最適とは限らないため。

超簡単な解説：継続的な評価を重視する理由は、一度決めた方法が常に最適とは限らないため。

Q081 専門職 | 4択 | 標準

問題

介護福祉士の専門性の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 観察・記録・評価を行い、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：C. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：介護福祉士の専門性では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q082 連携 | 4択 | 標準

問題

チームアプローチに関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- B. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- D. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。

答え・解説

正答：C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q083 連携 | 4択 | 基礎

問題

多職種連携に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- B. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- C. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

答え・解説

正答：D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q084 介護実践 | 4択 | 応用

問題

観察を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- B. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- D. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。

答え・解説

正答：C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q085 介護実践 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、記録の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 専門職として尊厳、自己決定、秘密保持、公正性などを守る行動指針。
- B. 利用者の安全確保を最優先し、状態確認、応援要請、報告、記録を行うこと。
- C. 利用者の変化や事故、判断に迷う内容を適切な相手へ速やかに伝えること。
- D. 支援内容、利用者の状態、反応、判断根拠を客観的に残すこと。

答え・解説

正答：D. 支援内容、利用者の状態、反応、判断根拠を客観的に残すこと。

超簡単な解説：記録は、支援内容、利用者の状態、反応、判断根拠を客観的に残すこと。

Q086 介護実践 | 4択 | 標準

問題

一人暮らしの利用者で、報告・連絡・相談を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 家族関係や病歴を、必要な職員以外に話さない。
- B. 食事量低下を介護記録に残し、栄養士・看護師と対応を検討する。
- C. 転倒を発見したら状態確認後、上司・看護職に事実を報告する。
- D. 日常の変化を介護支援専門員へ共有し、計画見直しの材料にする。

答え・解説

正答：C. 転倒を発見したら状態確認後、上司・看護職に事実を報告する。

超簡単な解説：報告・連絡・相談では、転倒を発見したら状態確認後、上司・看護職に事実を報告する。この対応が適切である。

Q087 安全 | 4択 | 標準

問題

介護実践でリスクマネジメントを重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 一度決めた方法が常に最適とは限らないため。
- B. 早期発見と安全な支援につながるため。
- C. 本人のできる力より、すべて介助することが自立支援になるため。
- D. 小さな兆候の分析が重大事故の予防につながるため。

答え・解説

正答：D. 小さな兆候の分析が重大事故の予防につながるため。

超簡単な解説：リスクマネジメントを重視する理由は、小さな兆候の分析が重大事故の予防につながるため。

Q088 安全 | 4択 | 応用

問題

Dさんは感染予防に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人の訴えを受け止め、介助前後の手指衛生と、必要時の手袋・マスクを適切に使う。
- B. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- C. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- D. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。

答え・解説

正答：A. 本人の訴えを受け止め、介助前後の手指衛生と、必要時の手袋・マスクを適切に使う。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、感染予防の観点から本人中心に対応する。

Q089 倫理 | 4択 | 標準

問題

倫理綱領の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。
- D. 利用者の個人情報を職員以外が聞ける場所で話さない。

答え・解説

正答：C. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

超簡単な解説：倫理綱領では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q090 倫理 | 4択 | 標準

問題

秘密保持に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- B. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- C. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

答え・解説

正答：D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q091 生活機能 | 4択 | 基礎

問題

ICFに関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- B. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- C. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。
- D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

答え・解説

正答：D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q092 支援観 | 4択 | 応用

問題

ストレングス視点を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- D. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。

答え・解説

正答：A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q093 個別性 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、生活歴の把握の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 介護計画やサービス担当者会議と日々の介護実践を結びつけること。
- B. 問題点だけでなく、本人の強み・希望・資源に着目する視点。
- C. 本人の仕事、家族、趣味、習慣など過去から現在までの生活を理解すること。
- D. 異なる専門職が専門性を活かし、情報共有と役割分担により支援すること。

答え・解説

正答：C. 本人の仕事、家族、趣味、習慣など過去から現在までの生活を理解すること。

超簡単な解説：生活歴の把握は、本人の仕事、家族、趣味、習慣など過去から現在までの生活を理解すること。

Q094 連携 | 4択 | 標準

問題

在宅で生活する利用者で、家族支援を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 家族の訴えを傾聴し、必要な制度や相談先につなぐ。
- B. 家族関係や病歴を、必要な職員以外に話さない。
- C. 介助前後の手指衛生と、必要時の手袋・マスクを適切に使う。
- D. 根拠を確認せず、経験だけで判断して記録や報告を省く。

答え・解説

正答：A. 家族の訴えを傾聴し、必要な制度や相談先につなぐ。

超簡単な解説：家族支援では、家族の訴えを傾聴し、必要な制度や相談先につなぐ。この対応が適切である。

Q095 自立支援 | 4択 | 標準

問題

介護実践で介護予防を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 生活不活発は心身機能低下につながるため。
- B. 利用者と職員双方の安全を守る基本だから。
- C. 記録は事故が起きた場合だけ作成すればよいから。
- D. 計画と実践がずれると、本人のニーズに合わない支援になるため。

答え・解説

正答：A. 生活不活発は心身機能低下につながるため。

超簡単な解説：介護予防を重視する理由は、生活不活発は心身機能低下につながるため。

Q096 接遇 | 4択 | 応用

問題

Fさんは尊厳を支える言葉かけに関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人の訴えを受け止め、『次はどうしましょうか』と本人の意向を確認しながら進める。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- D. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。

答え・解説

正答：A. 本人の訴えを受け止め、『次はどうしましょうか』と本人の意向を確認しながら進める。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、尊厳を支える言葉かけの観点から本人中心に対応する。

Q097 安全 | 4択 | 標準

問題

事故発生時の初期対応の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法続ける。
- C. 転倒時は無理に起こさず、意識や痛みを確認し応援を呼ぶ。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法続ける。

超簡単な解説：事故発生時の初期対応では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q098 連携 | 4択 | 標準

問題

ケアマネジメントとの連動に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- B. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- C. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

答え・解説

正答：D. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q099 支援観 | 4択 | 基礎

問題

利用者主体に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- B. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。
- C. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- D. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。

答え・解説

正答：A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q100 介護実践 | 4択 | 応用

問題

継続的な評価を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- D. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。

答え・解説

正答：C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q101 専門職 | 4択 | 標準

問題

一人暮らしの利用者で、介護福祉士の専門性を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 観察・記録・評価を行い、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- C. 歩行困難だけでなく、住環境や参加機会も含めて支援を考える。
- D. 転倒を発見したら状態確認後、上司・看護職に事実を報告する。

答え・解説

正答：A. 観察・記録・評価を行い、必要に応じてチームへ共有する。

超簡単な解説：介護福祉士の専門性では、観察・記録・評価を行い、必要に応じてチームへ共有する。この対応が適切である。

Q102 連携 | 4択 | 標準

問題

介護実践でチームアプローチを重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 情報の遅れは事故拡大や支援の不一致につながるため。
- B. 単独職種では生活全体の課題を把握しにくいから。
- C. 生活不活発は心身機能低下につながるため。
- D. 早期発見と安全な支援につながるため。

答え・解説

正答：B. 単独職種では生活全体の課題を把握しにくいから。

超簡単な解説：チームアプローチを重視する理由は、単独職種では生活全体の課題を把握しにくいから。

Q103 連携 | 4択 | 応用

問題

Aさんは多職種連携に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 本人の訴えを受け止め、食量低下を介護記録に残し、栄養士・看護師と対応を検討する。
- D. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。

答え・解説

正答：C. 本人の訴えを受け止め、食量低下を介護記録に残し、栄養士・看護師と対応を検討する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、多職種連携の観点から本人中心に対応する。

Q104 介護実践 | 4択 | 標準

問題

観察の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。
- C. 普段と違う歩き方や食欲低下を具体的な事実として記録する。
- D. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。

答え・解説

正答：B. 危険があっても、本人の様子を観察せずに同じ方法を続ける。

超簡単な解説：観察では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q105 介護実践 | 4択 | 標準

問題

記録に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- B. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- C. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- D. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。

答え・解説

正答：A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q106 介護実践 | 4択 | 基礎

問題

報告・連絡・相談に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- B. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- D. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。

答え・解説

正答：C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q107 安全 | 4択 | 応用

問題

リスクマネジメントを支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- D. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。

答え・解説

正答：C. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q108 安全 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、感染予防の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 標準予防策を基本に、感染源・感染経路・感受性宿主への対策を行うこと。
- B. 専門職として尊厳、自己決定、秘密保持、公正性などを守る行動指針。
- C. 生活機能を心身機能・身体構造、活動、参加、環境因子、個人因子の相互作用で捉える考え方。
- D. 本人の仕事、家族、趣味、習慣など過去から現在までの生活を理解すること。

答え・解説

正答：A. 標準予防策を基本に、感染源・感染経路・感受性宿主への対策を行うこと。

超簡単な解説：感染予防は、標準予防策を基本に、感染源・感染経路・感受性宿主への対策を行うこと。

Q109 倫理 | 4択 | 標準

問題

施設入所中の利用者で、倫理綱領を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 利用者の個人情報を職員以外が聞こえる場所で話さない。
- B. 入浴や食事の好みを生活歴から確認し、支援方法に反映する。
- C. 介助前後の手指衛生と、必要時の手袋・マスクを適切に使う。
- D. 施設の日課に合わせるだけでなく、本人の生活リズムを確認する。

答え・解説

正答：A. 利用者の個人情報を職員以外が聞こえる場所で話さない。

超簡単な解説：倫理綱領では、利用者の個人情報を職員以外が聞こえる場所で話さない。この対応が適切である。

Q110 倫理 | 4択 | 標準

問題

介護実践で秘密保持を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 身体・心理・社会面の課題を総合的に支えるため。
- B. 単独職種では生活全体の課題を把握しにくいいため。
- C. 早期発見と安全な支援につながるため。
- D. 生活情報は極めて私的であり、漏えいは尊厳と信頼を傷つけるため。

答え・解説

正答：D. 生活情報は極めて私的であり、漏えいは尊厳と信頼を傷つけるため。

超簡単な解説：秘密保持を重視する理由は、生活情報は極めて私的であり、漏えいは尊厳と信頼を傷つけるため。

Q111 生活機能 | 4択 | 応用

問題

CさんはICFに関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- B. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- C. 本人の訴えを受け止め、歩行困難だけでなく、住環境や参加機会も含めて支援を考える。
- D. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。

答え・解説

正答：C. 本人の訴えを受け止め、歩行困難だけでなく、住環境や参加機会も含めて支援を考える。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、ICFの観点から本人中心に対応する。

Q112 支援観 | 4択 | 標準

問題

ストレングス視点の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。
- B. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- C. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- D. 『できないこと』だけでなく『できる動作』『好きな活動』を把握する。

答え・解説

正答：A. 羞恥心やプライバシーへの配慮より、作業の速さを優先する。

超簡単な解説：ストレングス視点では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q113 個別性 | 4択 | 標準

問題

生活歴の把握に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- B. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- C. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- D. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。

答え・解説

正答：A. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q114 連携 | 4択 | 基礎

問題

家族支援に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- B. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- C. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

答え・解説

正答：D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q115 自立支援 | 4択 | 応用

問題

介護予防を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 計画は職員の作業負担だけを書き、本人の目標は含めない。
- B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- C. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- D. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。

答え・解説

正答：B. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q116 接遇 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、尊厳を支える言葉かけの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 業務上知り得た個人情報を正当な理由なく第三者に漏らさないこと。
- B. 支援内容、利用者の状態、反応、判断根拠を客観的に残すこと。
- C. 命令や幼児扱いを避け、対等な大人として関わること。
- D. 生活支援を通じて利用者の尊厳と自立を支える専門職として、根拠に基づく介護を行うこと。

答え・解説

正答：C. 命令や幼児扱いを避け、対等な大人として関わること。

超簡単な解説：尊厳を支える言葉かけは、命令や幼児扱いを避け、対等な大人として関わること。

Q117 安全 | 4択 | 標準

問題

認知機能に不安がある利用者で、事故発生時の初期対応を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 転倒時は無理に起こさず、意識や痛みを確認し応援を呼ぶ。
- B. 日常の変化を介護支援専門員へ共有し、計画見直しの材料にする。
- C. 普段と違う歩き方や食欲低下を具体的な事実として記録する。
- D. 『できないこと』だけでなく『できる動作』『好きな活動』を把握する。

答え・解説

正答：A. 転倒時は無理に起こさず、意識や痛みを確認し応援を呼ぶ。

超簡単な解説：事故発生時の初期対応では、転倒時は無理に起こさず、意識や痛みを確認し応援を呼ぶ。この対応が適切である。

Q118 連携 | 4択 | 標準

問題

介護実践でケアマネジメントとの連動を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 計画と実践がずれると、本人のニーズに合わない支援になるため。
- B. その人らしさを尊重した個別ケアにつながるため。
- C. 家族の希望は常に本人の意思より優先されるため。
- D. 介護者の作業時間を短縮することが、常に最優先になるため。

答え・解説

正答：A. 計画と実践がずれると、本人のニーズに合わない支援になるため。

超簡単な解説：ケアマネジメントとの連動を重視する理由は、計画と実践がずれると、本人のニーズに合わない支援になるため。

Q119 支援観 | 4択 | 応用

問題

Eさんは利用者主体に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- B. 本人の訴えを受け止め、施設の日課に合わせるだけでなく、本人の生活リズムを確認する。
- C. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- D. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。

答え・解説

正答：B. 本人の訴えを受け止め、施設の日課に合わせるだけでなく、本人の生活リズムを確認する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、利用者主体の観点から本人中心に対応する。

Q120 介護実践 | 4択 | 標準

問題

継続的な評価の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- B. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- C. 移乗方法を変更した後、痛みや不安の有無を確認して記録する。
- D. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。

答え・解説

正答：B. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：継続的な評価では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q121 専門職 | 4択 | 基礎

問題

介護福祉士の専門性に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- B. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- C. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

答え・解説

正答：D. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q122 連携 | 4択 | 応用

問題

チームアプローチを支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- B. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- C. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

答え・解説

正答：D. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q123 連携 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、多職種連携の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 利用者の変化や事故、判断に迷う内容を適切な相手へ速やかに伝えること。
- B. 実施した支援が本人に合っているかを確認し、必要に応じて修正すること。
- C. 生活機能を心身機能・身体構造、活動、参加、環境因子、個人因子の相互作用で捉える考え方。
- D. 異なる専門職が専門性を活かし、情報共有と役割分担により支援すること。

答え・解説

正答：D. 異なる専門職が専門性を活かし、情報共有と役割分担により支援すること。

超簡単な解説：多職種連携は、異なる専門職が専門性を活かし、情報共有と役割分担により支援すること。

Q124 介護実践 | 4択 | 標準

問題

一人暮らしの利用者で、観察を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 普段と違う歩き方や食欲低下を具体的な事実として記録する。
- B. 利用者の個人情報を職員以外が聞こえる場所で話さない。
- C. 移乗方法を変更した後、痛みや不安の有無を確認して記録する。
- D. 入浴や食事の好みを生活歴から確認し、支援方法に反映する。

答え・解説

正答：A. 普段と違う歩き方や食欲低下を具体的な事実として記録する。

超簡単な解説：観察では、普段と違う歩き方や食欲低下を具体的な事実として記録する。この対応が適切である。

Q125 介護実践 | 4択 | 標準

問題

介護実践で記録を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 早期発見と安全な支援につながるため。
- B. チーム内で同じ情報を共有し、継続した支援を行うため。
- C. 生活情報は極めて私的であり、漏えいは尊厳と信頼を傷つけるため。
- D. 家族の疲弊は本人の生活継続にも影響するため。

答え・解説

正答：B. チーム内で同じ情報を共有し、継続した支援を行うため。

超簡単な解説：記録を重視する理由は、チーム内で同じ情報を共有し、継続した支援を行うため。

Q126 介護実践 | 4択 | 応用

問題

Fさんは報告・連絡・相談に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- B. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。
- C. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- D. 本人の訴えを受け止め、転倒を発見したら状態確認後、上司・看護職に事実を報告する。

答え・解説

正答：D. 本人の訴えを受け止め、転倒を発見したら状態確認後、上司・看護職に事実を報告する。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、報告・連絡・相談の観点から本人中心に対応する。

Q127 安全 | 4択 | 標準

問題

リスクマネジメントの観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. ヒヤリ・ハットを共有し、環境や手順の改善につなげる。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

答え・解説

正答：D. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。

超簡単な解説：リスクマネジメントでは、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q128 安全 | 4択 | 標準

問題

感染予防に関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。
- B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- C. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- D. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。

答え・解説

正答：B. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q129 倫理 | 4択 | 基礎

問題

倫理綱領に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけを続ける。
- B. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- D. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。

答え・解説

正答：C. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q130 倫理 | 4択 | 応用

問題

秘密保持を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。
- D. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。

答え・解説

正答：A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q131 生活機能 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、ICFの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 生活機能を心身機能・身体構造、活動、参加、環境因子、個人因子の相互作用で捉える考え方。
- B. 業務上知り得た個人情報を正当な理由なく第三者に漏らさないこと。
- C. 標準予防策を基本に、感染源・感染経路・感受性宿主への対策を行うこと。
- D. 介護職、医療職、相談職、家族などが役割を分担し、共通目標に向けて支援すること。

答え・解説

正答：A. 生活機能を心身機能・身体構造、活動、参加、環境因子、個人因子の相互作用で捉える考え方。

超簡単な解説：ICFは、生活機能を心身機能・身体構造、活動、参加、環境因子、個人因子の相互作用で捉える考え方。

Q132 支援観 | 4択 | 標準

問題

退院後の生活を再開した利用者で、ストレンクス視点を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 利用者の個人情報を職員以外が聞こえる場所で話さない。
- B. 『できないこと』だけでなく『できる動作』『好きな活動』を把握する。
- C. できる動作もすべて介助し、本人が試す機会をなくす。
- D. 日常の変化を介護支援専門員へ共有し、計画見直しの材料にする。

答え・解説

正答：B. 『できないこと』だけでなく『できる動作』『好きな活動』を把握する。

超簡単な解説：ストレンクス視点では、『できないこと』だけでなく『できる動作』『好きな活動』を把握する。この対応が適切である。

Q133 個別性 | 4択 | 標準

問題

介護実践で生活歴の把握を重視する理由として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の意欲と生活の継続性を支えやすくなるため。
- B. その人らしさを尊重した個別ケアにつながるため。
- C. 家族の希望は常に本人の意思より優先されるため。
- D. 利用者と職員双方の安全を守る基本だから。

答え・解説

正答：B. その人らしさを尊重した個別ケアにつながるため。

超簡単な解説：生活歴の把握を重視する理由は、その人らしさを尊重した個別ケアにつながるため。

Q134 連携 | 4択 | 応用

問題

Bさんは家族支援に関して不安を訴えている。介護職が最初に行う対応として最も適切なものはどれか。

- A. 不安を否定し、すぐに別の話題へ変える。
- B. 記録や報告をせず、その場の判断だけで済ませる。
- C. 本人の訴えを受け止め、家族の訴えを傾聴し、必要な制度や相談先につなぐ。
- D. 本人に説明せず、職員だけで対応を決める。

答え・解説

正答：C. 本人の訴えを受け止め、家族の訴えを傾聴し、必要な制度や相談先につなぐ。

超簡単な解説：不安の訴えには受容と確認が必要であり、家族支援の観点から本人中心に対応する。

Q135 自立支援 | 4択 | 標準

問題

介護予防の観点から、最も避けるべき対応はどれか。

- A. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- B. 本人の理解度に合わせて説明し、同意を確認する。
- C. 観察した事実を記録し、必要に応じてチームへ共有する。
- D. 活動量低下を防ぐため、本人に合う日課や運動機会を検討する。

答え・解説

正答：A. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。

超簡単な解説：介護予防では、本人の尊厳・安全・意思を損なう対応は避ける必要がある。

Q136 接遇 | 4択 | 標準

問題

尊厳を支える言葉かけに関する情報をチームで共有する場面で、最も適切な対応はどれか。

- A. 変化があっても次の勤務者には伝えず、記録も省略する。
- B. 本人に確認せず、職員間で都合のよい方法を決めて実施する。
- C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。
- D. 家族の希望だけを根拠に、本人の生活歴や意思を確認しない。

答え・解説

正答：C. 観察した事実、本人の発言、実施した対応を分けて記録し、必要な職種へ共有する。

超簡単な解説：チーム共有では、主観と事実を分け、本人の発言・観察結果・対応内容を具体的に伝える。

Q137 安全 | 4択 | 基礎

問題

事故発生時の初期対応に関連して介護職が観察する内容として、最も適切なものはどれか。

- A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。
- B. 介護者の印象だけを記録し、具体的な事実は残さない。
- C. 本人の反応を見ずに、全員へ同じ方法を用いる。
- D. 問題が起きるまで観察せず、定型的な介助だけ続ける。

答え・解説

正答：A. 普段との違い、本人の訴え、客観的な状態変化を確認する。

超簡単な解説：介護職の観察では、普段との違い、本人の訴え、客観的事実を具体的に確認する。

Q138 連携 | 4択 | 応用

問題

ケアマネジメントとの連動を支援計画に反映する際の考え方として、最も適切なものはどれか。

- A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。
- B. 一度作った計画は状態が変わっても変更しない。
- C. 評価は行わず、支援回数だけを増やす。
- D. 計画は職員の作業分担だけを書き、本人の目標は含めない。

答え・解説

正答：A. 本人の希望と観察事実をもとに目標を立て、実施後に評価して見直す。

超簡単な解説：介護過程では、本人の希望と観察事実に基づき計画を立て、実施後に評価して修正する。

Q139 支援観 | 4択 | 基礎

問題

次のうち、利用者主体の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 支援の中心を職員や施設ではなく、本人の生活と意思に置くこと。
- B. 要介護状態の発生や悪化を予防し、生活機能の維持・向上を図ること。
- C. 異なる専門職が専門性を活かし、情報共有と役割分担により支援すること。
- D. 介護職、医療職、相談職、家族などが役割を分担し、共通目標に向けて支援すること。

答え・解説

正答：A. 支援の中心を職員や施設ではなく、本人の生活と意思に置くこと。

超簡単な解説：利用者主体は、支援の中心を職員や施設ではなく、本人の生活と意思に置くこと。

Q140 介護実践 | 4択 | 標準

問題

在宅で生活する利用者で、継続的な評価を踏まえた介護職の対応として最も適切なものはどれか。

- A. 家族の訴えを傾聴し、必要な制度や相談先につなぐ。
- B. 食事量低下を介護記録に残し、栄養士・看護師と対応を検討する。
- C. 本人の意向を確認せず、職員の都合だけで支援内容を決める。
- D. 移乗方法を変更した後、痛みや不安の有無を確認して記録する。

答え・解説

正答：D. 移乗方法を変更した後、痛みや不安の有無を確認して記録する。

超簡単な解説：継続的な評価では、移乗方法を変更した後、痛みや不安の有無を確認して記録する。この対応が適切である。